

わたしたちの人権

79

だれもが人間として生きていく権利を侵さない
当然の権利これが『人権』です

気づけば高まる人権意識

～まずは身近な会話から～

7月28日、千寿苑で「人権を考える町民の集い」が開催され、落語家の桂七福（かつらしちふく）さんが「身近な会話を大事にして、人権感覚を磨こう」という趣旨で講演しました。参加者数は178人でした。講演の要旨をお伝えします。



講演する、桂七福さん

を受け取った側が、自分の感覚で分けていけるのです。相手もみなさんの断りなしに、勝手に分けています。ですから、言葉を発するときには思いつきでしゃべってはいけません。相手がどう受け取るか、自分の頭の中を一度くぐらせてから発しましょう。

しかし、どんなに配慮しても相手に自分の本意が通じないことがあります。何気なく発した言葉に、相手がトゲを感じてしまうこともあります。言葉を受け取る側が、その時の体調や感情に左右されることも一因でしょう。

自分の本意と、相手の受け取りにズレが生じたときには、積極的に訂正をしてください。いわゆる「言い訳」ですが、相手とのつきあいを大切にしたいという思いがこもっていれば、分かってくれます。なるべく早く、できれば直接会って

言い訳することが大事です。逆に相手からの言葉に嫌な思いをした時には、訂正を受け入れる余地を自分の中に残しておいてください。訂正がちゃんとできれば、将来、当事者同士で傷跡を堂々と見ることができそうです。

言葉の意味を良く考えて使うことも大事です。例えば「普通」ってなんでしょう。普通の人、普通の考え・・・。辞書を調べてもよく分かりません。普通はややこしい言葉です。「かわいそう」という言葉もうっかり使ってしまうですが、言われた相手はモヤモヤとした気持ちになります。講演会で良く聞く、「コミュニケーションをとりましょう」も分かったよう

で実はよく分かりません。迷信の中には、生活上の知恵に基づくものもありますが、なかには差別を助長する刷り込みもあり、注意が必要です。将来になりたい職業について親子で話すときにも、親の思い込みや偏見を子どもに植え付けることがあるので、気をつけましょう。

イジメの問題については、イジメられている側が自分の強さをアピールするために、最後の瞬間に自分の命を断つことがあります。それは大きな間違いです。天寿がくるまで自分から死ぬ必要はありません。自分がつらい時、「助けてください」と言うことは弱いことではありません。身近な人や非通知の電話相談などに、ぜひ相談して欲しい。また、相談を受けた側は、一緒に落ち込まずに、「大丈夫！生きていけばいろいろある。なん

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす
第40回熊本県人権教育研究大会
2011年10月15日(土)～16日(日)

- 15日(土)・・・益城町総合体育館(全体会)
午後1時～午後4時45分
- 16日(日)・・・郡内の18会場(分科会)
午前9時～午後4時
※山都会場は矢部中学校

とかなるよ」と、ドーンと構えて対応していた。人々の命を助けるためなら、大ボラを吹くことは許されます。努力によって伸び縮みする差はあってもいいと思います。しかし、出身や肌の色など、自分の努力ではどうしようもないことで、上だの下だの差をつけて考えるのはおかしいことです。

たった一言の言葉で傷つくこともあれば、心の支えになることもあります。ぜひ、みなさんにも日々の生活の中で言葉を大事に扱っていただき、人権を大事にする町づくりを進めていただきたいと願います。

季節のうた

▼馬見原酔山会
蝉も来て読経始まる七回忌
川床を組む町の往時を偲ばんと
法師蝉やとカーテン洗ひ終へ
やまなみの会

▼抱卵の浮葉の鶏の動かさる
鳩の声流る、江津の風涼し
其処此処に親子の牛のやさしがる
目を細め立つ

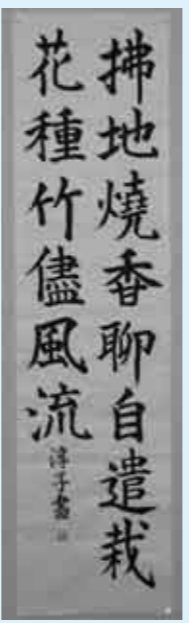
▼いつとなく窓辺につるの葉の茂り涼し誘う
苦瓜爽やか
優勝のトロフィーがかげ満足の笑みうかべたる
ナデシコジャパン

▼通潤句会
風蘭の香の白々と夜明かな
梅雨明くる紐ひけば木偶目覚めたり
清和短歌会
所在なく意味なく庭を眺めおり蛸は雨の
夕暮れを鳴く
一瞬の線香花火燃え尽きただ見つめて
やわらかき初秋の朝風あびて千日紅は燃えて

▼兼瀬 静かなる盆
小崎 哲治
考行

▼渡辺 勝子
本田 彰
工藤美智子
赤星たづえ
天崎 信忠
原田 和子
飯星セチ子
田代 エミ
今村 芳子
西田 かつみ
田中 かつみ
西田 えい子

書道



和光教室書道部の山本淳子さん(米生)作

10月の当番医

10月2日 坂本クリニック(電話72-0210)
10月9日 伴 病院(電話72-0029)
10月16日 野田 医院(電話72-0307)
10月23日 矢部広域病院(電話72-1121)
10月30日 瀬戸 病院(電話75-0111)

山都町の人口

(平成23年8月31日現在)

男 8,633人(-6)
女 9,248人(-3)
計 17,881人(-9)
世帯 6,769戸(+5)

※()は前月比

※最高齢は105歳(女性1人)

※1月1日～8月31日の出生届数
69人(うち8月は8人)

※1月1日～8月31日の死亡届数
185人(うち8月は22人)

2012年(平成24年)版町民手帳 予約申し込み受付中!

現在、2012年版町民手帳の予約申し込みを受け付けています。各地区の代表者が回覧する申込み用紙にお名前、必要数を記入いただきお申し込みください。



【代 金】 1冊500円

【申込期限】 平成23年10月20日(木)

【配付時期】 11月下旬頃となります。また、代金と手帳の引き換えについては、申込み代表者を通じて行います。

* 個人での受け渡しは原則行いません。

【問合せ先】

企画振興課(73-0410)

清和総合支所総務住民課(82-2111)

蘇陽総合支所総務住民課(83-1111)

編集後記

火伏地蔵祭、雨・・・。八朔祭、雨・・・。
今年は天気恵まれなかった山のまつり。しかし、最後の清和文楽の里まつりは、秋の太陽と高原の風が心地よい、素晴らしい天気でした。祭りが盛り上がるのはその地域が元気な証拠。天気に関係なく、出演者の皆さんはすべて活気に満ちあふれていました。

昨年は八朔小町として、今回はアイドルグループの一員としてお会いした深瀬智聖さん。福岡を拠点としながら、心はふるさとと共にあるアイドルの今後の活躍に期待!(F)